



『新宿力』で創造する
やすらぎとにぎわいのまち新宿

新宿区

令和5年第1回区議会定例会
新宿区長定例記者会見資料
令和5年2月13日

事業名	妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援の充実、女性の健康支援(健康相談、専門相談の実施)	予算(案)の概要	46,67 ページ
予算額	令和5年度予算額 103,868 千円 (前年度予算額 88,980 千円)	(拡充)	
取材先	健康部健康づくり課長 羽山 (電話 03-5273-3806) 健康部四谷保健センター所長 吉井 (電話 03-3351-5161)		

不妊治療から産後ケアの支援充実 令和5年度の取り組み

少子化対策の一環として、**不妊治療支援事業の開始**と併せて、令和3年度に開始した産後ケアを拡充し、新たに、**デイサービス型とアウトリーチ型の産後ケア**を開始します。

女性の健康相談・専門相談【継続】 予算額 2,743千円

既存事業

婦人科医師による産婦人科全般と更年期の専門相談を毎月1回実施しています。また、各保健センターでは看護師等による健康相談、女性の健康支援センターでは随時相談を行っています。

ゆりかご・しんじゅく事業【継続】 予算額 56,478千円

妊娠中の方と看護職が面談(ゆりかご面接)し、支援プランを作成します。面接を受けた方には、「ゆりかご応援ギフト」を配布します。

子育て世代包括支援センターを設置し、母子保健部門と子育て部門の連携を図っています。

1 不妊治療支援事業の開始 予算額 604千円

令和5年度開始

- 妊娠を望み、不妊に悩む区民が身近なところで気軽に相談ができ、必要な場合には早期に治療できるよう、相談支援を行います。

産婦人科医師による不妊専門相談を開始します

- 新宿区医師会と連携し、女性の健康支援センターで、産婦人科医師による不妊に関する専門相談を実施します。

ピア(仲間)カウンセラーによる相談を開始します

- 女性の健康支援センターで、ピア・カウンセラーが個別にお話しをお聴きし、不妊にまつわるさまざまな気持ちに寄り添います。

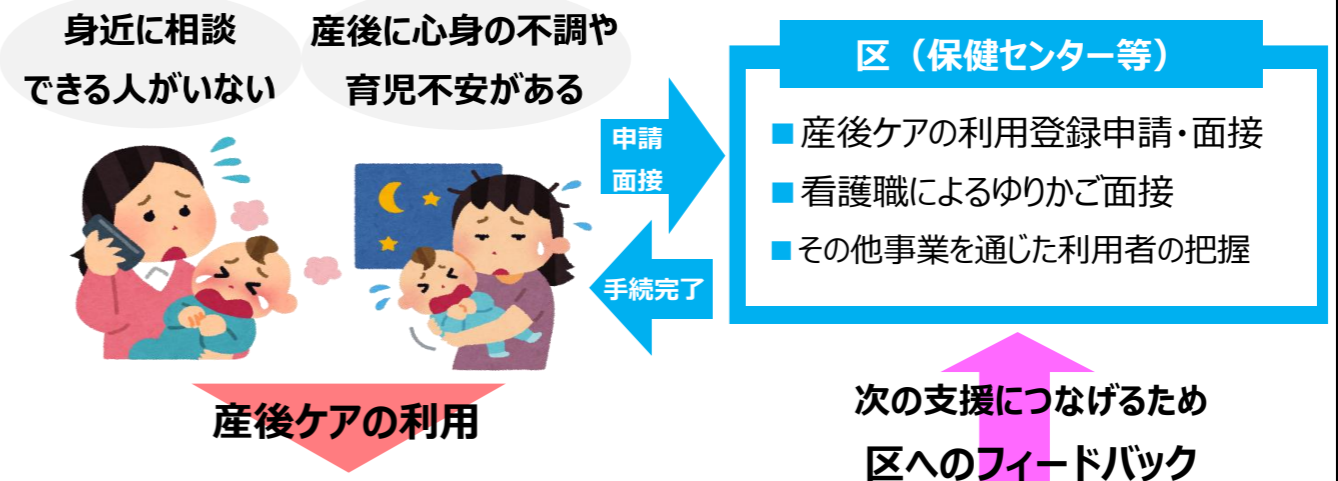


2 産後ケア事業の充実 予算額 44,043千円

令和5年
4月拡充

～ママに愛情&自信をチャージ、そして次の支援につながっていく～

- ショートステイ型(宿泊型)に加えて、**デイサービス型(通所型)**と**アウトリーチ型(訪問型)**の産後ケアを開始します。



助産師等による産後ケア

ショートステイ型

- 支援施設に宿泊してサービスを受ける
- 病院・助産院に委託して実施

デイサービス型 NEW

- 支援施設に通ってサービスを受ける
- 病院・助産院に委託して実施

アウトリーチ型 NEW

- 家庭訪問によりサービスを受ける
- 助産師に委託して実施

疲労の回復

育児技術の習得

産後うつ予防

支援機関とのつながり

育児への自信

産後ケアで愛情&自信をチャージ



不安の解消
自宅でも安心して
子育て



心身ともに健やかな
子育てを応援します

しんじゅく健康フレンズ